

3. 組織学的異型度 (Grading)

卵巣腫瘍の組織学的異型度の格付けは、予後に関連する因子であろうとの考えから、とくに悪性表層上皮性・間質性腫瘍と未熟奇形腫において用いられることがある。

悪性表層上皮性・間質性腫瘍に関しては、World Health Organization (WHO)¹⁾、Gynecologic Oncology Group (GOG)などによって提唱されてきた格付け方法があるが、国際的にも合意を得るには至っていない。したがって、本取扱い規約においては特定の格付け方法を推奨することはしない。以下に、WHOの方法¹⁾、比較的最近提唱されたSilverbergらの方法²⁾、そしてWHOの2003年の新分類³⁾に関連した記載について概要のみを示す。

[WHOの方法]¹⁾

- GX : 評価できないもの
- GB : 境界悪性腫瘍
- G1 : 高分化
- G2 : 中分化
- G3-4 : 低分化～未分化

[Silverbergらの方法]²⁾

表3に示す3要素のスコアの合計によって格付けする。

Grade 1 : スコアの合計 3~5

Grade 2 : スコアの合計 6, 7

Grade 3 : スコアの合計 8, 9

表3 3要素の内容とスコア

スコア	主たる組織構築	細胞異型	高倍率10視野中の核分裂像の数
1	管状	軽度	0~9
2	乳頭状	中等度	10~24
3	充実性	高度	25以上

[WHO新分類(2003)]³⁾

漿液性腺癌についてはSilverbergらの方法²⁾を推奨している。

類内膜腺癌についてはZainoら⁴⁾の子宮体癌での方法が取り上げられ、構造異型により、

Grade 1 : 充実性に増殖している部分が腫瘍全体の5%以下のもの

Grade 2 : 充実性に増殖している部分が腫瘍全体の5~50%を占めるもの

Grade 3 : 充実性に増殖している部分が腫瘍全体の50%を超えるもの

に分けられ、加えて著明な核異型がみられるときは1段階上げる。

明細胞腺癌については、組織構築が多様であることや大部分の症例で核異型が高度であることから格付けは勧めていない。

核異型について分ける場合は次のような基準が提唱されている⁵⁾。

Grade 1：核は軽度に腫大しているが、クロマチンは均等に分布し、核小体は目立たず、核分裂像は稀である。

Grade 2：核は中等度に腫大し、大きさも形も多様になる。核小体は小さいが、明瞭となる。核分裂像の数は種々である。

Grade 3：核は高度に腫大し、多形性を増す。不整粗大なクロマチンと著明な核小体が見られる。

未熟奇形腫に関しては Norris らの方法^{6,7)} が用いられることが多く、WHO 新分類(2003)⁸⁾ においても推奨している。その実際については胚細胞腫瘍の説明の項に示してある。

【参考文献】

- 1) Scully RE, eds: World Health Organization International Histological Classification of Tumours. Histological typing of ovarian tumours. 2nd ed, Springer, Berlin, 1999: 45-53
- 2) Silverberg SG: Histologic grading of ovarian carcinoma: a review and proposal. Int J Gynecol Pathol 2000; 19: 7-15
- 3) Tavassoli FA, Devilee P, eds: World Health Organization Classification of Tumours. Pathology & Genetics. Tumours of the breast and female genital organs. IARC Press, Lyon, 2003; 117-145
- 4) Zaino RJ, Kurman RJ, Diana KL, et al: The utility of the revised International Federation of Gynecology and Obstetrics histologic grading of endometrial adenocarcinoma using a defined nuclear grading system. A gynecologic oncology group study. Cancer 1995; 75: 81-86
- 5) Damjanov I, Fan F, eds: Cancer grading manual. Springer, Berlin, 2007: 64-74
- 6) Norris HJ, Zirkin HJ, Benson WL: Immature (malignant) teratoma of the ovary: a clinical and pathologic study of 58 cases. Cancer 1976; 37: 2359-2372
- 7) O'Conner DM, Norris HJ: The influence of grade on the outcome of stage I ovarian immature (malignant) teratomas and the reproducibility of grading. Int J Gynecol Pathol 1994; 13: 283-289
- 8) Tavassoli FA, Devilee P, eds: World Health Organization Classification of Tumours. Pathology & Genetics. Tumours of the breast and female genital organs. IARC Press, Lyon, 2003; 169-170

卵巣腫瘍取扱い規約 第1部

組織分類ならびにカラーアトラス 定価(本体 8,000 円+税)

1990 年 7 月 20 日 第 1 版発行

2009 年 12 月 28 日 第 2 版第 1 刷発行

編 集 日本産科婦人科学会・日本病理学会

発行者 川井 弘光

発行所 金原出版株式会社

〒 113-8687 東京都文京区湯島 2-31-14

電話 編集 (03) 3811-7162

営業 (03) 3811-7184

FAX (03) 3813-0288

振替口座 00120-4-151494

<http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

©1990, 2009

検印省略

Printed in Japan

ISBN 978-4-307-30100-8

横山印刷/永瀬製本所

JCOPY <®出版者著作権管理機構 委託出版物>

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、®出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

小社は捺印または貼付紙をもって定価を変更致しません。

乱丁、落丁のものは小社またはお買い上げ書店にてお取り替え致します。